



おしらせ (2月)

○豆まき 2月 2日 (全園児)

昨年までは鬼のお面と豆入れを作り、学年ごとに豆まきを行っていました。しかし、「鬼のお面って全員作る意味はあるのだろうか」という職員の話し合いのもと、豆入れのみ作り、遊びの流れを重視しながら進めていくことにしました。すると、年長児から「自分達が鬼になって年少中組さんを追いかけてい」という意見が出てきて、年長児は自然に鬼のお面作りへと活動が進んでいきました。

当日は「年少さんだから優しく追いかけて」とそっとそばに来てくれたり「わあ～助けて」と大げさに逃げてくれたり、異年齢のほほえましい光景が見られました。

毎年行っているからではなく、その活動が子どもたちにとってどのような意味があるのかを考えて、当たり前のことを見直す視点を常にもち続けたいと思います。

○お別れ遠足(吾妻山公園) 2月13日 (年長児)

幼稚園最後のお弁当の日をどのように過ごしたいか年長組全員で話し合いをしました。「水族館に行きたい」「モルモットを触りたい」などいろいろな意見が出ました。「〇〇は13日はお休みだ」と家で調べて来た子もいて、休館日があることにも気づきました。何回も話し合いを行った結果「電車に乗って吾妻山公園に行こう」という意見でまとまりました。しかし「〇〇君がどうしてもつばらの公園に行きたいんだって!」と1人の友達の思いを真剣に伝える子が出てきました。その思いを取り上げてさらに話し合った結果、2箇所に行くこととなりました。

4チームに分かれてそれぞれリーダーを決めて、初めてみんなで電車に乗りました。緊張して「どこで降りるの?」と何回も聞いてくる子もいましたが、運転手さんの動きを真後ろで見たり、「あのボタン何だろう」と話したりして興味津々でした。

公園に着くと長いローラー滑り台を何回も滑ったり、難しいコンビネーション遊具に挑戦したりして、あっという間に時間が過ぎていきました。一面の菜の花や富士山、海という絶景の中で、(トンビが降りてこないかハラハラしましたが)おいしいお弁当を食べました。

自分達で考え決定し実施されたお別れ遠足でした。当日だけでなくその過程の中で1人の思いも大事に受け入れ考えていくという集団の育ちをうれしく思いました。

○保育参観発表会 「ゾンビと7匹のうさぎ」 2月14日(うさぎ組) 「こあら組のおむすびころりん」 2月16日(こあら組)

年長組の発表から刺激を受けて「自分達もやりたい」という思いが出てきました。いろいろな絵本からやりたいものを選び、おばけごっこやゾンビダンスなど普段の遊びや歌っている歌なども取り入れながら進めていきました。お家などの大道具はどのようにしたいかみんなで話し合い、協力して完成していきました。衣装や小物も自分で工夫して作り、なりたい役になって動いたり踊ったり生き生きと表現していました。年少長さんに見てもらい「ダンスが上手だった」「楽器がそろっていたよ」などほめられ、自信につながりました。

当日は、いつもの元気な姿を見せられなかった子もいましたが、役になりきって表現したり、友達を応援したりしながら、クラスみんなが1つになって取り組んでいました。一人一人の大きな成長が見られ、1年間の集大成となりました。

○避難訓練(火災 消防署員来園) 2月27日 (全園児)

園庭に消防自動車到着すると、子どもたちは「おーい」と手を振りながら、大喜びでベランダに飛び出していきました。通常の避難訓練を行った後、職員全員が水消火器を使い消火活動の訓練をしました。まず慌てずに近くの先生の話をよく聞くということが大事であることを教えていただきました。

最後に消防自動車のドアを開けていただき中を見せてもらいました。ホース・はしご・さまざまな器具などがあり、興味津々で見えていました。

